

(児童発達支援) 事業所における自己評価結果(公表)

R3年度

こじか園

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3		目的別に使用可能な部屋があり適切である
	2 職員の配置数は適切であるか	2	1	2枠ある職員の為の補充が必要と思う
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3		特性に応じた構造化を設置し、利用児にわかりやすい表示をしている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3		日々、掃除・消毒を行い清潔を保っている。空間は十分にある
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	1	職員間で検討・振り返りを行う
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		保護者の気づき、不安に傾聴しながら改善を検討している
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		評価の定期的公開を行なっている
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	
	9 職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保しているか	3		事例検討を重ね研修を実施
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3		2回/年のモニタリング・個別支援計画書の作成時に、保護者との振り返りを実施し再検討している
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		より具体的に情報を得るためにアセスメントツールを使用
	12 児童支援発達計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」、で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	3		具体的項目の支援計画で支援内容の振り返りを行なう
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行なわれているか	3		記録を見直し検討している
	14 活動プログラムの立案をチームで行なっているか	3		気づきをお互いに検討する
	15 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	3		個々にあった支援を行い、再検討している
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3		児の発達程度に合わせた計画を立案
	17 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行なわれる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		事前の打ち合わせ、児に合わせた対応を話し合う
	18 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行なわれた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3		気づきの共有、支援法の立て直しを検討
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3		支援記録、活動内容記録をとっている	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3		半年に一度、個別支援計画を見直し、再確認をしている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3		児の担当者・児発管が出席
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行なっているか	3		保健師、相談員等の関係機関との連携を実施
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか			現在該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			現在該当なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3		児の保育園等へ見学へ出向き、支援の共有や情報交換をしている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3		相談事業所を通じ、情報共有を行っている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		1回/月地域連合会議に出席し、研修や情報共有をしている
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3		行事活動の際、他の兄弟児と交流あり
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	1	担当者会議出席
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3		保護者の気づき、不安に傾聴
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行なっているか	3		支援向上の為にスキルアップの必要がある
保護者への説明責任等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか	3		契約時に説明を行う
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された『児童発達支援計画』を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3		モニタリング期に保護者と面談を行う(随時可)
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	3		随時可
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3		茶話会を実施
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3		相談があった場合には、相談環境を整えて対応している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	2	行事予定の連絡は随時行っている。定期的な会報を検討する
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3		取り扱いには十分な注意をしている
	39	障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3		言葉と視覚支援による共通理解を心がけている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	地域との交流は今後検討

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3		各マニュアルを作成・掲示し周知を図っている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3		利用児を含め、訓練を実施
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	3		契約時に確認。今後、予防接種の把握が必要
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	3		契約時に確認
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		事例集を読み直し、注意喚起をする
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3		虐待防止に関する資料を参考に検討
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3		現在該当者なしだが、今後に向けて検討する必要あり